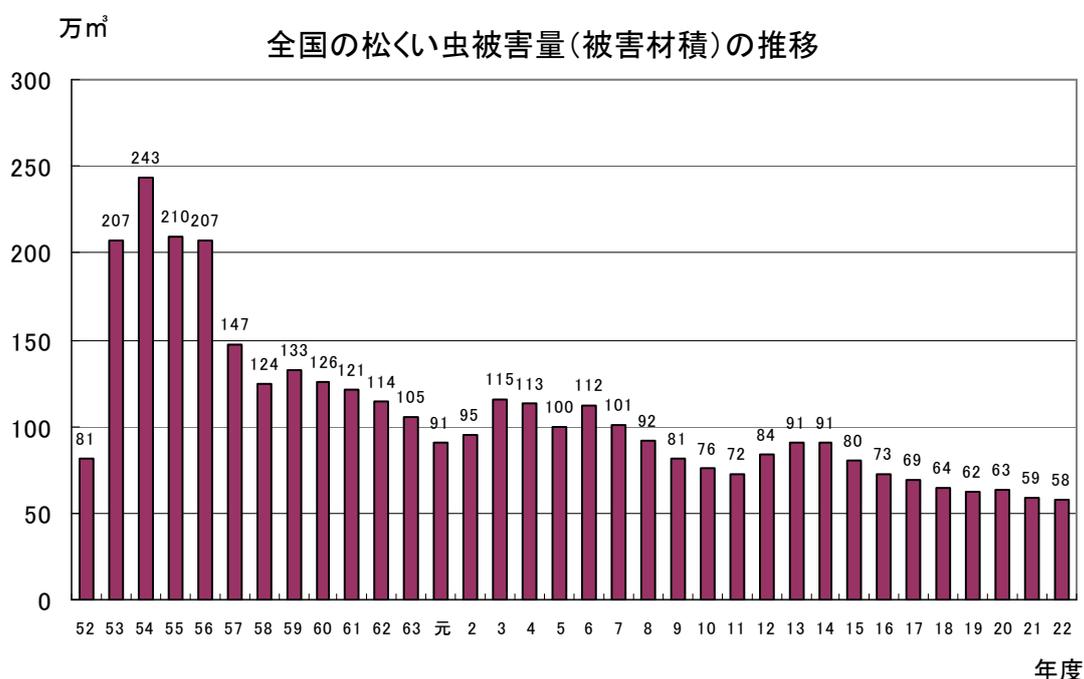


お客様各位



平成22年度の松くい虫被害状況について

松くい虫被害（マツ材線虫病）の被害状況は、例年8月に前年度分が林野庁により取りまとめられ、発表されています。平成23年8月11日に発表されたデータによると、平成22年度の松くい虫被害量（被害材積）は前年度から約10,000^m減の約580,000^mでした。ピークである昭和54年度の約1/4量にまで減少していますが、被害の発生地域は青森県、北海道を除く45都府県に及んでおり、未だ被害は継続していると言えます。



マツ材線虫病にかかったマツが年を越してしまうと、もう手の施しようがありません。特に注意すべきなのは、秋には外見上健全な個体が、年を越した後に枯死する「年越し枯れ」で、北陸では特に多いと言われています。一本がかかるとカミキリを媒介に周辺へ一気に拡大しますので、早めの対処が必要です。

松枯れ予防の樹幹注入剤は各種メーカーから販売されていますが、効果持続期間は3~7年※です（※樹幹注入剤の種類によって異なります）ので、以前施工された方も改めて前回の施工時期を確認し、再予防する必要があるかどうかチェックされることをお勧めいたします。

以前にグリーンガードを施工された木については、メーカー提供の「グリーンガード樹体内濃度検査サービス」を受けることもできますので、お気軽にお問合せください。

◆商品案内◆



グリーンガード・NEO（酒石酸モランテル剤）90ml/本

- 防除効果が高く、また安全性も高い「グリーンガード」シリーズは、松枯れ予防剤の中でもトップシェアを誇っています。
- 樹体に直接注入するので、ドリフトなどの心配がありません。
- 一度施工すると予防効果は7年間※持続します（※2011年持続期間延長）。
- 従来品「グリーンガード」「グリーンガード・エイト」よりもコンパクトで、また寒冷地でも問題なく施工でき、薬効の持続期間も長くなりました。

メーカー希望価格：2,600円/本